

SCHEDULE 年間スケジュール

- 4 ■ 道場開設記念射会
- 5 ■ 春季県内大学定期対抗戦
- 6 ■ 全国大学弓道選抜大会
- 7 ■ インカレ個人戦予選
■ 部内班対抗弓人選手権大会
- 8 ■ 全日本学生弓道選手権大会(インカレ)
- 9 ■ 秋季強化合宿(長野県)
■ 富山大学・金沢工業大学定期対抗戦
■ 福井大学・金沢工業大学定期対抗戦
- 10 ■ 北信越学生弓道選手権大会
- 11 ■ 秋季県内大学定期対抗戦
■ 全日本学生弓道王座決定戦
■ 東西学生弓道選抜対抗試合
- 2 ■ 卒業生納射会
■ 春季強化合宿(県内)
- 3 ■ 春季北信越学生弓道大会



部活に一目惚れ 金沢に来て良かった

自分の射を他人と比較するのではなく、自分の射に何が足りないのかを考え、自分を磨くことに心を傾けてきました。その中で、なりたい姿を思い定め、それに向かって、どのような手段、どのような順番でアプローチしていくかを考えながら進んでいくことを学びました。私は教員を目指していますが、大学院に進学して、より深く学校教育について学びたいと思っています。自分がどのような教員になりたいかを考えて見出した進路です。

田中 智世 文学部教育学科4年
富山県立雄山高校出身(元副将)

よりよい射を求め、集中と工夫

どうすれば良い射になるかを考えながら自分の射癖を直していき、前の射より良くなった時の達成感が好きで、大学でも弓道部に入りました。将来は、病院で栄養の面から治療のサポートがしっかりできる管理栄養士を目指しています。栄養学部は授業が多く、部活に遅れて行くことも多いのですが、勉強と両立するために、授業は集中して受け、部活では短い時間でも射が良くなるように、練習方法を自分でよく考え、先輩方にアドバイスをもらいながら頑張っています。

高橋 奈々 栄養学部栄養学科1年
石川県立鹿西高校出身



OB・OG 卒業後の進路



長岡赤十字病院
寺田 彩夏
2023年度
人間健康学部
健康栄養学科
(現・栄養学部)卒業
新潟県立上越総合技術高校出身



南砺市役所(行政職)
松川 和真
2023年度
経済学部
経済学科卒業
富山・高岡向陵高校出身



福井県教員
岩本 利太
2022年度
文学部
教育学科
(現・教育学部)卒業
福井県立美万高校出身



石川県庁(管理栄養士)
越前 優紀紗
2020年度
人間健康学部
健康栄養学科
(現・栄養学部)卒業
石川県立金沢西高校出身



北國フィナンシャル
ホールディングス
小寺 美歌子
2018年度美術文化学部
メディアデザイン学科
(現・芸術学部)卒業
石川県立羽咋工業高校出身

卒業生の主な就職先 (過去3年間)

経営情報学科 ▶ ㈱しん証券さかもと、㈱スズキ自販北陸、㈱平和堂、㈱プレスステージインターナショナル、㈱日本空調北陸
文学部 ▶ 大城エネルギー㈱、JA越後ながおか協同組合、よろづや観光㈱ / 教育学部 ▶ 福井県教員委員会、新潟県教員委員会
新潟市私立幼稚園 / 健康栄養学科 ▶ 石川県庁(管理栄養士) / スポーツ健康学科 ▶ SOMPOケアメッセージ㈱

KYUDO 弓道部

CLUB DATA

監督 ▶ 渡邊 琢夫
活動日 ▶ 火・水・金(17:00~19:00)、土(9:00~12:00)
休養日 ▶ 月・木・日
活動場所 ▶ 弓道場
部員数 ▶ 21名(男子9名、女子12名)



伝統に恥じない正しい射で より高いレベルを目指す

1984年に金沢女子短期大学弓道同好会として発足、86年に弓道部へ昇格した。87年金沢女子大学弓道部が誕生、95年、男女共学の金沢学院大学弓道部になった。創部以来「基本に忠実に、正確な弓を引く」という目標を掲げ、全日本学生弓道選手権大会(インカレ)や北信越学生弓道選手権大会で個人や団体戦で入賞といった実績を重ねてきた。2022年の春季北信越学生弓道大会では、女子個人戦の優勝、準優勝、女子団体戦の準優勝と、稽古に裏打ちされた強さを発揮し、2022年の全国大学弓道選抜大会では女子団体ベスト16に輝いた。これからも、伝統に恥じない戦いをしていきたい。



正射必中 基本に忠実に 正確な弓を引く

弓道は、揺れ動く己の心と向き合う武道である。我々弓道部が目指すのは、的中という結果ではなく、体配・射技の基本動作に常に忠実に弓を引くことである。平常心を中心に置き、正確な射を行うことができれば、その結果としての的中がある。正射必中。それでは、どのようにすれば正しい射に近づけるのか。部員たちは日々考え悩みながら稽古に取り組む。

試合の緊張の中で普段の稽古の成果を発揮するためにはどうすればよいのか。緊張の中でも崩れない確固とした射とはどういうものなのか。考え、試み、さらなる研究を重ねる。そして、部員同士で経験を伝え合い、互いに切磋琢磨し、師範の指導を自分のものとする努力を続けながら、正しい射を追い求めるのである。

渡邊 琢夫 監督 WATANABE TAKUO

宮城県立仙台第一高校卒、東北大学大学院修了。
医学博士。弓道三段。金沢学院大学栄養学部教授。2019年弓道部部長に就任、20年から現職。

PRACTICE FIELD 練習環境



大学構内に6人立の弓道場があり、部活動以外の時間でも自由に練習をすることができます。照明のLED化、安土の整備など、設備を絶えず更新しており、また、春には鳥の声、秋には虫の音が聞こえる季節感あふれる弓道場です。



毎年夏に、長野県の野辺山高原で強化合宿を行います。合宿では、長野県弓道連盟副会長の山浦博先生をお招きし、射技、体配の基本を中心にご指導いただきます。野辺山駅は日本で最も標高の高い駅で、真夏でも涼しい環境のなかで弓道に打ち込めます。宿泊するロッジに併設されている広い弓道場を貸し切りで使い、仲間と一緒に弓道三昧の数日間を過ごします。



COACHING STAFF

信頼の指導者たち



池田 忠明 コーチ
新潟県立長岡高校、日本大学卒。
教士七段、元石川県弓道連盟指導部長。公益財団法人日本体育協会公認上級指導員。

PROMISING PLAYER

基礎を怠らず、個々の成長から全員の成長へ

帆刈 太一 経済学部・経済学科2年 新潟県立新潟東高校出身

正しく引けば、必ず的に中る。弓道部では、正射必中を目指して稽古に取り組んでいます。日頃の稽古の成果を試合や昇段審査で発揮するために、師範の池田先生のご指導のもと、基礎を怠らず、

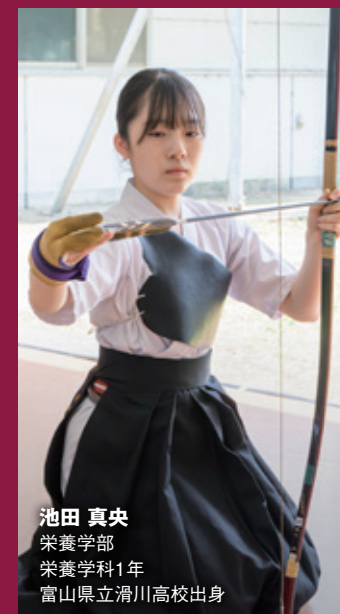


一射一射、真摯に弓を引くようにしています。団体戦で強くなるには、個々の成長が最も大切なので、お互いの射を確認し合いながら、全員の成長に繋がるように、日々努力しています。

【プロフィール】

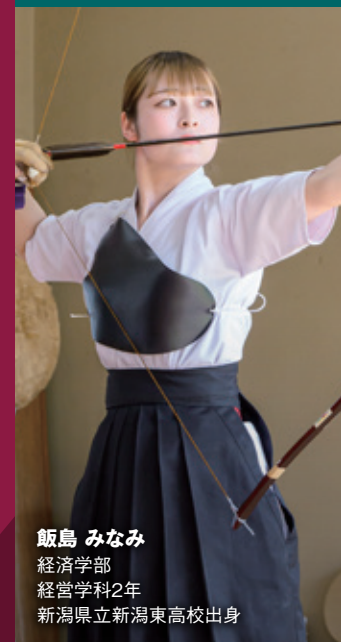
2022年国体北信越大会(少年男子)1位、国体本大会出場。
2021年新潟県高校総体男子団体1位、インターハイ出場。
2022年新潟県高校総体男子個人1位、北信越大会男子個人3位。

とある1日のスケジュール



池田 真央
栄養学部
栄養学科1年
富山県立滑川高校出身

2021年国体北信越大会(少年女子)1位、2022年同2位、国体本大会出場。2021年新潟県高校総体女子団体2位、インターハイ出場。試合で強さを発揮する、全国大会進出への切り札。



飯島 みなみ
経済学部
経営学科2年
新潟県立新潟東高校出身



築瀬 卓大朗
文学部
文学科歴史学・考古学専攻1年
富山県立滑川高校出身

2023年富山県高校総体男子団体3位、北信越高等学校弓道大会出場。安定した射型が持ち味。先輩の指導のもと、正確な射で的中を伸ばし、高校時代には届かなかった新たな次元へ成長を続ける。

金沢学院大学附属高校弓道部で主将を務める。同じ弓道場を使っている大学弓道部に憧れ、金沢学院大学進学を決める。副将として、附属高校弓道部と大学弓道部の連携に中心的な役割を担う。



倉下 通子
文学部
文学科英米文学2年
金沢学院大学附属高校出身

RESULT 主な戦績

- 2021年 秋季北信越学生弓道選手権大会 女子団体**2位** 女子個人**3位**
- 2022年 春季北信越学生弓道大会 女子団体**2位** 女子個人**優勝、2位**
全国大学弓道選抜大会 女子団体**ベスト16**
秋季北信越学生弓道選手権大会 女子団体**3位**
- 2023年 秋季北信越学生弓道選手権大会 女子団体**3位**